

整理番号 00830

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

Copper Turnings

カッパー ターニング

販売者情報

会社 LECO ジャパン合同会社

住所 〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当 SDS 担当者

電話番号 (03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社 LECO Corporation

住所 3000 Lakeview

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

2. 危険有害性の要約

GHS 分類（銅）

物理化学的有害性 : 分類基準に該当しない

健康に対する有害性 : 皮膚感作性 区分 1A

特定標的臓器毒性（単回暴露）区分 3（気道刺激性）

特定標的臓器毒性（反復暴露）区分 1（肝臓）

環境に対する有害性 : 水生環境慢性有害性 区分 4

ラベル要素

絵表示



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 呼吸器への刺激のおそれ。長期または反復ばく露による肝臓の障害。長期的影響により有害のおそれ。

注意書き：【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。屋外また

は換気の良い区域でのみ使用すること。粉じんを吸入しないこと。取扱後はよく手を洗うこと。環境への放出を避けること。

【応急措置】

吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

【保管】

容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

| | |
|--------------|-----------------|
| 化学物質・混合物の区別 | : 化学物質 |
| 化学名 | : 銅 |
| 成分及び含有量(wt%) | : 90-100 |
| 化学式又は構造式 | : Cu |
| 官報公示整理番号 | 化審法: 対象外 |
| | 安衛法: 通知対象物質 379 |
| | PRTR 法: 対象外 |
| CAS No. | : 7440-50-8 |
| 国連分類及び国連番号 | : 3077 |

4. 応急措置

| | |
|---------------------------|--|
| 吸入した場合 | 新鮮な空気の場所に移す。症状がひどくなる/長引く場合には医師の手当てを受ける。 |
| 皮膚に付いた場合 | 汚染された衣服と靴を取り除き、大量の水で 15 分間以上洗い流す。症状がひどくなる/長引く場合には医師の手当てを受ける。 |
| 目に入った場合 | 直ちに大量の水で 15 分間以上十分洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外す。 |
| 飲み込んだ場合 | 口をよくすすぐ。直ちに医師に連絡する。 |
| 急性症状及び遅発性症状 の最も重要な兆候症状 | 眼や皮膚への刺激。 |
| 医師に対する特別な 注意事項 | 一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。 |
| その他の情報 | 気分が悪い時には医療アドバイスを受ける。 |

5.火災時の措置

| | |
|--------------|---|
| 消火剤 | 水スプレー。泡。乾燥粉末。CO ₂ 。 |
| 使ってはならない消火剤 | 水流による消火を行うと火災を広げる可能性がある。 |
| 火災時の特有の危険有害性 | 火災により刺激、腐食および/または有害なガスを発生するおそれがある。 |
| 消火を行う者の保護 | 火災時には自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。 |
| 特有の消火方法 | 火災時および/または爆発の際はヒュームを吸入しないこと。未開封の製品を冷やすには水スプレーを使用する。危険なく行える場合には容器を火災現場から移動させる。 |
| 特別な手法 | 他の燃焼物を考慮した通常の消火方法を用いる。 |

6.漏出時の措置

| | |
|-----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 関係者以外を退避させる。清掃中は適切な保護衣を着用すること。ダストを吸入しない。換気をよくする。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 掃き集める、または掃除機で吸い取り廃棄に適した容器に集める。 |
| 環境に対する注意事項 | 安全であれば、さらなる流出を防ぐ。環境へ放出されることを防ぐ。 |

7.取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----------|---|
| 安全取扱い注意事項 | ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。皮膚への接触を防ぐ。ダスト/ヒューム/ガス/蒸気/スプレーを吸入しない。適切な保護具を着用する。取扱後はよく手洗いを行う。産業衛生に気を配る。環境へ放出しない。 |
| 安全な保管条件 | 製品の入っていた容器のまま密閉して乾燥し換気の良い場所に保管する。 |

8.暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

| 物質 | タイプ | 値 | 形状 |
|-------------------|-----|-----------------------|---------|
| 銅 (CAS 7440-50-8) | PEL | 1 mg/m ³ | ダスト、ミスト |
| | | 0.1 mg/m ³ | ヒューム |

US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards

| 成分 | タイプ | 値 | |
|-------------------|-----|---------------------|---------|
| 銅 (CAS 7440-50-8) | TWA | 1 mg/m ³ | ダスト、ミスト |

生物学的限界値

生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策

十分な換気を行う。

保護具

眼/顔の保護

サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。

皮膚の保護

手

適切な耐薬品グローブを着用する。

その他

適切な耐薬品保護衣を着用する。

呼吸器の保護

換気が十分でない場合、適切な呼吸器を使用する。

熱的危険

必要な場合熱保護衣を着用する。

一般的な衛生事項

取扱後、飲食、喫煙前の手洗いなど常に衛生に気を配る。作業着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9.物理/化学的性質

外観

物質の状態

固体

色

銅色

臭い

なし

臭気限界

入手不可

pH

入手不可

融点・凝固点

1083°C推定

沸点、初留点と沸騰範囲

2595°C

引火点

入手不可

蒸発率

入手不可

燃焼性(固体、ガス)

入手不可

燃焼または爆発範囲

入手不可

燃焼範囲-下限(%)

入手不可

燃焼範囲-上限(%)

入手不可

爆発下限界(%)

入手不可

| | |
|----------------|--------------------------------|
| 爆発上限界(%) | 入手不可 |
| 蒸気圧 | 入手不可 |
| 蒸気密度 | 入手不可 |
| 相対密度 | 入手不可 |
| 溶解度 | 不溶 |
| n オクタノール/水分配係数 | 入手不可 |
| 自然発火温度(発火点) | 入手不可 |
| 分解温度 | 入手不可 |
| 粘度 | 入手不可 |
| その他の情報 | |
| 密度 | 8.94 g/cm ³ @20°C推定 |
| 分子式 | Cu |
| 分子量 | 63.55 g/mol |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-----------|----------------------------|
| 反応性 | 入手不可 |
| 化学的安定度 | 通常の状態安定 |
| 危険有害反応可能性 | 通常の条件下での使用で有害な反応は知られていない |
| 避けるべき条件 | 混触危険物質との接触を防ぐ。 |
| 混触危険物質 | アセチレン、硫化酸素、酸、フッ素、アルカリ、強酸化剤 |
| 有害な分解生成物 | 入手不可 |

11. 有害性情報

| | |
|--------------------------|----------------------------|
| 起こりうる暴露についての情報 | |
| 吸入 | 吸入すると有害のおそれ。 |
| 皮膚 | 皮膚刺激の可能性。 |
| 眼 | 直接の眼への接触は一時的な刺激を起こす可能性がある。 |
| 飲み込んだ場合 | 飲み込むと有害のおそれ。 |
| 物理的、化学的、有害性特性に 関連した症状 | 入手不可 |
| 毒物学的影響 | |
| 急性毒性 | 入手不可 |
| 皮膚の腐食/刺激 | 入手不可 |
| 重篤な眼の損傷/眼刺激 | 入手不可 |
| 呼吸器または皮膚感作性 | |
| 呼吸器感作性 | 入手不可 |

| | |
|--|----------|
| 皮膚感作性 | 入手不可 |
| 生殖細胞変異原性 | 入手不可 |
| 発がん性 | |
| IARC Monographs. Overall Evaluation of Carcinogenicity | 入手不可 |
| OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050) | 記載なし |
| US. National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens | 入手不可 |
| 生殖毒性 | 入手不可 |
| 特定標的臓器毒性 (単回暴露) | 分類されていない |
| 特定標的臓器毒性 (反復暴露) | 分類されていない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 入手不可 |

12.環境影響情報

生態毒性

| 製品 | 種 | 結果 |
|-------------------|------|--|
| 銅 (CAS 7440-50-8) | | |
| 水生 | | |
| Crustacea | EC50 | Water Flea (Daphnia magna) 0.036 mg/l, 48 時間 |
| Fish | LC50 | Fathead minnow (Pimephales promelas) 0.0319-0.0544 mg/l, 96 時間 |

* 製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

| | |
|----------|--|
| 残留性/分解性 | 知られていない。 |
| 生態蓄積性 | データなし |
| 土壌中の移動性 | データなし |
| その他の有害影響 | この製品による環境への悪影響 (例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は考えられていない。 |

13.廃棄上の注意

| | |
|-------------|--|
| 廃棄手順 | 内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。 |
| 残余廃棄物/未使用製品 | 地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。 |
| 汚染容器 | 空容器の再利用/廃棄には認証を受けた廃棄処理場に持ち込まなければならない。 |

14.輸送上の注意

DOT

| | |
|---------|--|
| UN 番号 | UN3077 |
| UN 正式品名 | 環境有害物質(固体, n.o.s.)(Copper RQ=5000LBS (2.5 トン)) |
| 分類 | |
| 等級 | 9 |
| 副次危険性等級 | - |
| ラベル | 9 |
| 容器等級 | III |
| 使用者への注意 | 取り扱いの前に本 SDS を読むこと |

IATA

| | |
|---------|----------------------------|
| UN 番号 | UN3077 |
| UN 正式品名 | 環境有害物質(固体, n.o.s.)(Copper) |
| 分類 | |
| 等級 | 9 |
| 副次危険性等級 | - |
| 容器等級 | III |
| ERG コード | 9L |
| 使用者への注意 | 取り扱いの前に本 SDS を読むこと |

IMDG

| | |
|---------|----------------------------|
| UN 番号 | UN3077 |
| UN 正式品名 | 環境有害物質(固体, n.o.s.)(Copper) |
| 分類 | |
| 等級 | 9 |
| 副次危険性等級 | - |
| 容器等級 | III |
| 使用者への注意 | 取り扱いの前に本 SDS を読むこと |

DOT,IATA,IMDG



15.適用法令

労働安全衛生法 : 施行令第 18 条の 2 別表第 9 (名称等を表示、又は通知すべき危険物及び有

害物) 379

16.その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(090115) : LECO Corporation
JIS Z7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成 13 年 6 月 1 日

改訂：平成 13 年 10 月 15 日(書式改訂、法令見直し)

平成 13 年 11 月 10 日(有害性、反応性見直し)

平成 22 年 3 月 1 日 (法令見直し)

平成 23 年 7 月 11 日 (住所変更)

平成 24 年 6 月 15 日 (法令見直し)

平成 25 年 6 月 27 日 (P/N 追加)

平成 28 年 5 月 19 日 (法令見直し)

令和 2 年 10 月 2 日 (P/N 追加)

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。
尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。